

# 宇佐市民図書館 2004.07

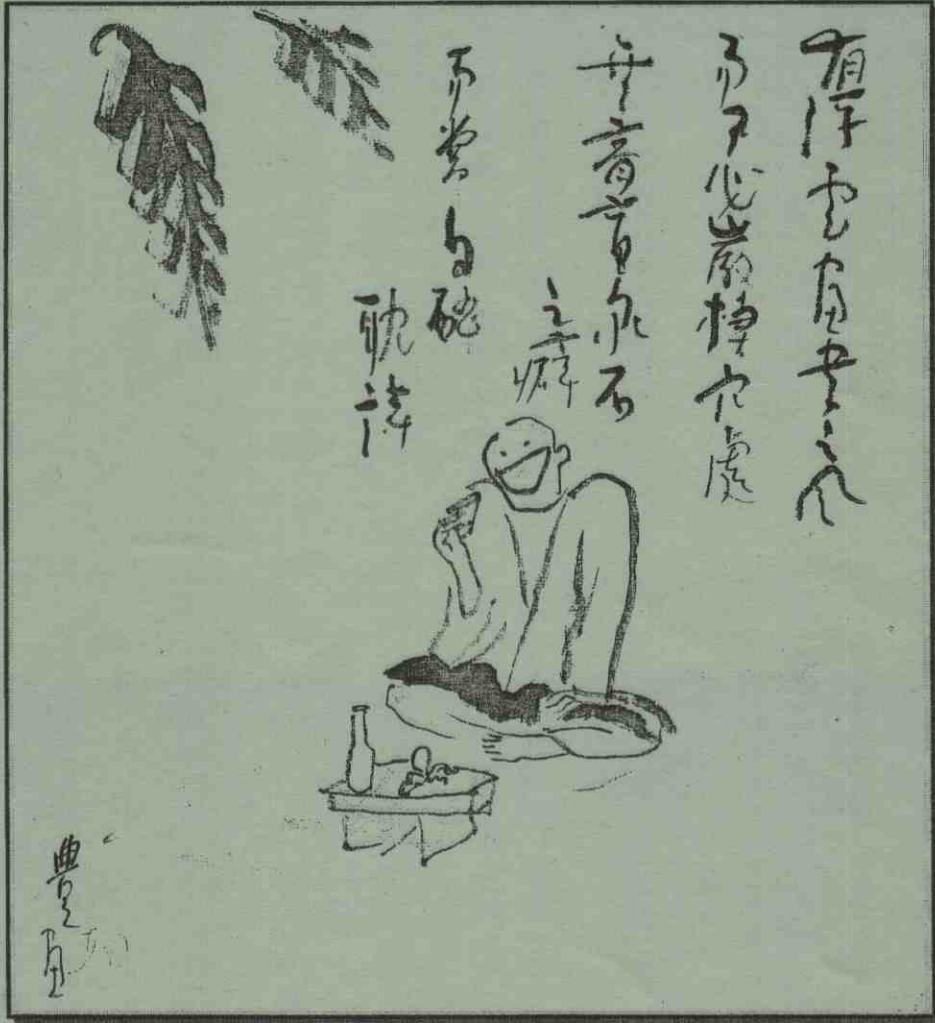
# 郷土スペース月報

〒879-0453 大分県宇佐市上田1017-1 TEL.0978-33-4600 FAX.0978-33-4679  
<http://www.usa-public-library.jp/>

今月の表紙

麻生豊の書画色紙。

「有浮雲画書之風ノ而可必巖樓穴処ノ無膏育泉石之癖ノ而常自酔耽詩ノ豊画」。



目次	今月の表紙・麻生豊の色紙
◆	麻生豊「ふるさとの味」から冒頭部分
◆	龍膽・小野精一編「大分県人名辞典」本文編(26)
◆	新着郷土資料目録・平成十六(二〇〇四)年「6月」

4 2 1

## ふるさとの味 (冒頭部分)

麻生 豊

私の郷里は大分県。宇佐八幡宮から三里の山峡の村。口の悪いのが雲臭いなぞいって私をからかうのだが、村の自慢は竹細工と山芋だから、雲臭いのを裏書きするようなもの。もっとも竹細工は村の特産ではなくて大分県としての名産なのは皆様御承知。山芋の方は大いに自慢して、ここ十年来、毎年裏山から掘ってもらって、東京で山芋の会を開いて食べて頂くのだが日本一の好評を頂いている。

(ノンキナトウサン遺稿集)

麻生豊著・麻生照編集発行ノ

1977)

# 龍膽・小野精一編 大分県人名辞典 本文編 (26)

遺族から宇佐市に寄託された自筆原稿より、本文を順次紹介しています。  
収録人名一覧は、No.7(2000.10)~No.14(2002.5)に記載しました。

## いわお

いわお・かんじ 岩尾完治  
(一八六三〜一九四〇)

諱完治。無松と号す。宇佐郡乙女の人。東沢瀉の門に学び、陽明学を修めた。宇島教養に教鞭を執る十年、教養の佐賀に移るに従い勤務中、東洋巨観の著をなす。固より莊子の解説書である。終世手に書を解かず、世塵を遠ざけ、詩文に思いを遣り昭和十五年七月、七十七歳で世を没した。

いわお・これのぶ 岩男是命

佐田村、岩男力松の三男。昭和五年、日名子実三に師事し、昭和十年一回帝展入選以来、三回続いて入

選。昭和十三年、荒木大将の愛犬セパードをモデルとしたもの一躍特選となった。日名子氏は、彼はまだ若いから、遠慮したいという。然るに待品は程の傑作を棄てるわけにも行かぬと特選に決した。昭和十二年以来、北支に出征し、各地に転戦し、不幸の十三年十二月、山西省の花と散った。時に二十八歳。(宇佐史談)

いわさき・こじろう

岩崎小二郎

佐賀県人。明治二十四年四月、西村知事の後任として滋賀県知事から本県知事として赴任し、二十六年五月、福岡県知事として去った。在県三年。(警史)

いわた・えいこ 岩田英子

いわなが・よしあき 岩永良顕

直入郡久住の人。弥七郎二男。熊

本時習館に入り、秋山玉山に学び、詩文に長ず。文化八年、招せられ、久住梅石亭教師となり、子弟教育に当る。職にある三十六年、弘化三年、同地に歿す。年七十一。通称、勝左衛門。名、良顕。号、梅石。(大塚)

いわなみ・げんざぶろう  
岩波源三郎

中津藩主、小笠原長勝の家臣。長勝精神病に罹る。群臣之を慰むべく高樓を築き、珠玉を鏤み、珍器を集め、京阪より女妓を招き遊宴連日、一日の費へ三千貫、財政困窮、江戸参勤さえ缺ることになった。時に藩財政の任に当る岩波源三郎忽ち重税を課し誅求判らざるなら中津港灣に關税を徴し、宇佐参道に關所を設け、参拝者や旅人に通行税を徴し、祭典佃事を差しとめ、葬儀婚礼に酒餅を禁じ、足利時代の徳政の如

## うえき

うえき・かくほ 植木鶴歩

二世静齋金谷弗水の門人。三世水ノ江月虚の跡を襲ぎ、四世静齋鶴歩と称す。師弗水歿後二十五年、弗水遺句集の続春雪集後篇を編した。弗水追悼会に桂川連中の筆頭として

ほととぎす其嘶さへ一昔

四世静齋鶴歩

く質屋店借を横棒を引かせ、債権債務を棄却し、訴訟は賄賂で事を裁く。然し、天は其暴政を懲すべく凶年至り餓孚道に横わり良民逃亡を企つ。之を岩波徳政と称した。其事江戸に聞え、岩波は捕えられ、斬罪に処せられた。次で天和年、長勝も江戸で歿した。(宇佐郡史)

うえだ・えいじろう 上田栄次郎

うえだ・げんすけ 植田玄佐

宇佐郡上田村、上田興右衛門の次男。明治二年生。明治三十年、帝大農科卒業。同三十二年、京都府農学校に就鞭し、次で、農務省の試験場技師となり、農作物病害研究に従事し、四十二年、大蔵省専売局より煙草病害研究を嘱せられ、四十二年、農大講師となる。大正三年、東京高等蚕糸学校教授となり、微生物学を担当した。大正八年、植物病理学の論文を提出し、農学博士の学位を授与された。十年七月、勅任官を以て待遇せられ、勲四等に叙せられ、同十二年、五十五歳で歿した。が、危篤の報天聴に達し、正四位に叙せられた。(宇佐史論)

(大友興廃記)

## 新着郷土資料目録 平成16(2004)年【6月】

書名/人名/出版社/出版年(月)/請求記号/(備考)

## 【点字資料】

- 吉四六ばなし①/宮本清/大分合同新聞社/1998/TA388.1ミ/(寄贈)  
 吉四六ばなし②/宮本清/大分合同新聞社/1998/TA388.1ミ/(寄贈)  
 吉四六ばなし③/宮本清/大分合同新聞社/1998/TA388.1ミ/(寄贈)  
 吉四六ばなし④/宮本清/大分合同新聞社/1998/TA388.1ミ/(寄贈)  
 吉四六ばなし⑤/宮本清/大分合同新聞社/1998/TA388.1ミ/(寄贈)  
 吉四六ばなし⑥/宮本清/大分合同新聞社/1998/TA388.1ミ/(寄贈)  
 吉四六ばなし⑦/宮本清/大分合同新聞社/1998/TA388.1ミ/(寄贈)

## 【マイクロ資料】

- 大分合同新聞マイクロフィルム 昭和30年1月~2月/大分合同新聞社/(購入)  
 大分合同新聞マイクロフィルム 昭和30年3月~4月/大分合同新聞社/(購入)  
 大分合同新聞マイクロフィルム 昭和30年5月~6月/大分合同新聞社/(購入)  
 大分合同新聞マイクロフィルム 昭和30年7月~8月/大分合同新聞社/(購入)  
 大分合同新聞マイクロフィルム 昭和30年9月~10月/大分合同新聞社/(購入)  
 大分合同新聞マイクロフィルム 昭和30年11月~12月/大分合同新聞社/(購入)  
 大分合同新聞マイクロフィルム 昭和31年1月~2月/大分合同新聞社/(購入)  
 大分合同新聞マイクロフィルム 昭和31年3月~4月/大分合同新聞社/(購入)  
 大分合同新聞マイクロフィルム 昭和31年5月~6月/大分合同新聞社/(購入)  
 大分合同新聞マイクロフィルム 昭和31年7月~8月/大分合同新聞社/(購入)  
 大分合同新聞マイクロフィルム 昭和31年9月~10月/大分合同新聞社/(購入)  
 大分合同新聞マイクロフィルム 昭和31年11月~12月/大分合同新聞社/(購入)  
 大分合同新聞マイクロフィルム 昭和32年1月~2月/大分合同新聞社/(購入)  
 大分合同新聞マイクロフィルム 昭和32年3月~4月/大分合同新聞社/(購入)  
 大分合同新聞マイクロフィルム 昭和32年5月~6月/大分合同新聞社/(購入)  
 大分合同新聞マイクロフィルム 昭和32年7月~8月/大分合同新聞社/(購入)  
 大分合同新聞マイクロフィルム 昭和32年9月~10月/大分合同新聞社/(購入)  
 大分合同新聞マイクロフィルム 昭和32年11月~12月/大分合同新聞社/(購入)